



春日部市議会議員
くりばら信司 後援会だより

Kuri's Voice

<http://s-kuribara.com/>

発行責任者
栗原 信司
市内中央2-25-30
TEL/FAX752-2384
www@s-kuribara.com

3 月度定例議会 一般質問より

1. 電子行政サービスについて

①点目にIP電話の導入について提案かたがた早期導入を求め、質問しました。

②点目に住基カードの高機能化とその普及策、セキュリティー対策について質問しました。

③点目に公共施設でのインターネット利用についてお伺いしました。

④点目に携帯電話の活用策についてお伺いしました。

例えば、その一つとして、凶悪犯罪を未然に防ぐという観点から犯罪多発地点や危険区域をマップにして携帯電話からその情報をわかるようにするべきではな

いかと思うところですが、市の考えをお伺いします。

答弁：①IP電話につきましては早期に導入の方向で検討します。②住基カードのセキュリティーにつきましては細心の注意を払って参ります。③公民館等でのインターネット利用につきましては順次利用出来るように進めて参ります。④携帯電話の活用につきましては災害情報の提供を始めたところですが防犯情報などの提供など検討して参ります。

2. コミュニティーバスの導入について

一昨年に引き続きまして、コミュニティーバスの導入についてお伺いしました。順次路線バスなどの拡充が進むものの、豊町方面については未だに交通不便地域のままのために早期導入を求めつつ市の取り組みをお伺いしました。

少なくとも合併予定の3町は全て福祉バスや巡回バスなどを利用出来るようになっていくわけであり、高齢者を初めとする足腰の悪い人、自動車の運転免許証のない人など移動に困難な市民に対して早急に対策を図るべき、又、無料化を望

むところですが、住民は有料もある意味ではやむを得ないとする市民の方もいらっしゃると思います。そこで、病院の送迎用とか企業や学校の通勤通園バスの借り上げて使うことなど検討し、早期に導入すべきではと訴えました。

答弁：合併を控えていることと相手側3町のバスの運行方式がそれぞれ違うこともあり、コースの検討を含め、有料か無料か等、さらに導入までは最低でも2年以上は掛かるものと思われま



ちょっと小耳に情報！

☆携帯電話版のHPで災害情報が発生した場合にお知らせします。

<http://www.city.kasukabe.saitama.jp/i/index.html>

☆その他、休日担当の医療機関の紹介や児童虐待の相談窓口などを載せています。ご活用下さい。

3. 自然体験学習について

自然体験学習についてお伺いしました。海のない春日部の児童生徒達に海のある街での体験交流を通して自然を学ぼうという事業が大いなる効果を上げているようですが、児童生徒達にとって実体験を通しての教育に勝るものはないと思います。

そこで、林間学校や、臨海学校、遠足や社会科見学などで、コースを変えたりと、これに現実に何かの体験学習、例えば、NPO法人などが主催運営しているものづくりコースでは大自然が生んだ天然の教育現場の中で「すいとん」を作ったり「竹筒ご飯」を作ったりと実体験をとおした自然体験学習がとても有意義で

あるとの観点から学校現場でも取り入れるべきと提案し、心の大いなる発達をさせる試みを試行するべきではないかと訴え、市としての取り組みについてお伺いいたしました。

答弁：手自然体験学習については大変に有意義なことであるので関係機関に話をしてみたいです。



4. 一ノ割駅のバリアフリー対策について

一ノ割駅周辺のバリアフリー対策について改めてお伺いしました。この問題は公明党として要望書も何度も提出しているところです。又、議会でも幾度となく取り上げている問題です。駅周辺と共に一ノ割駅そのもののバリアフリー化についてお伺いをしました。

車いすの人、杖がなくては歩けない人、補助車の必要な人など、こういった視線に立ち、市として出来ることは何なのか。

又、一ノ割駅を利用する人だけに限らず、東西の行き来をされる方々が毎日のように、誰かが踏切で転んでいます。

この、市内でも特有の形態の踏切をどうしようとしているのか改めてお伺いしました。橋上駅にするとか、東西連絡通路を設置するとか、又、国の運輸政策審議会に働きかけ、北越谷以北への鉄道高架事業の延伸を求めるなど、地域住民の意向をしっかりと反映出来ますように要望しつつ市の取り組みについてお伺いしました。

答弁：市としては地域住民の方の意向を踏まえ東武鉄道や県や国とも連携を図って参りますが対策については検討中です。